

高瀬神社 社報

VOL. 81

令和6年4月1日

# 越中一宮

<https://www.takase.or.jp>



桜詣。

桜の香り、心に元気。  
開花の頃より見頃を過ぎるまで、  
「桜詣」のご朱印を授与しております。

撮影 南部スタジオ

四月・五月の祭事

月次祭（毎月一日・十三日）

神武天皇祭（四月三日）

春季祭（四月十日）

昭和祭（四月二十九日）

御田植祭（五月下旬）



## 「支援」

宮司 藤井秀嗣

年明けから早三ヶ月が過ぎた。元旦夕刻に発生した能登半島地震は大きな災いを招き、現在も避難や復旧作業が行われている。毎日報道される状況に一喜一憂しているこの頃である。

被災された皆様に心からお見舞い申し上げる次第である。幸いにして当神社をはじめ兼務神社も最小限の被害で済んだことは誠に有難く、大神様の御加護と感謝している。また、日頃から好を重ねている全国の神社、また関係各位からお見舞いをいただいたことも有難く御礼申し上げる次第である。

能登方面には当家の親類縁者が奉仕する神社があり、被害は何処も甚大であった。すぐにお見舞いに行くべきであったが、災害復旧活動の妨げになることとで、時間をあけて、一月下旬と二月初旬に伺った。

能登半島先端の珠洲市へ出かけた時には本当に驚いた。「全壊」を目の当たりにした。奥能登へ行くにつれその様子は悲惨になり、通りにはまともな建物が一つも無かった。どこから手着けたら、どうすれば人が生活できるようになるのだろうか、地元住民でない自分達も途方に

暮れてしまった。

珠洲市内の神社へ巫女さんの装束を届けた。震災で使えなくなったしまったという事で、新しい千早と緋袴を各二領揃えて訪ねた。参道の構造物(鳥居・燈籠・狛犬など)は全て倒壊し、そのままだった。それらは昨年五月に発生した能登沖地震で被害をうけ、年末までに復旧したところだった。禍津神の仕業とてなんと酷い仕打ちだろう。氏子の方々は二度も三度も繰り返す災害に修繕費用を捻出する力もとより、復興しようという心が完全に折れてしまっているとお聞きした。

富山県も被災県であり、お互いさまであるが、あの破壊された町や村の復旧が一日も早く進んで、以前の生活が出来る日が訪れるまで支援の心を持ち続け、長くその活動を続けることが大切だ。

富山県神社庁では災害対策室にて県内はもとより、県外への支援活動も強力に進めてもらっていることは心強いことである。我々も個人レベルで出来る限りの支援をしなければならぬ。心の拠り所である神社が被災したままの状態で放置されているのは本当に心苦しい限りである。

。氏子の方々に希望をもってもらうためにはどうしたらよいか。物資の支援に合わせ、心の支援も考えていかねばならない。

先日、友人に誘われ、水見市の民宿へお昼ご飯を食べに行く機会があった。特に支援という趣旨ではなかったが、帰りに「とやま応援クーポン」という三千円分のクーポンをもらった。富山県の支援策だった。被災した場所へ行き、食事や買い物をする事によって支援できるという、図らずも間接的な支援をさせてもらうことになった。この手の支援は気軽に実行できる。

昭建皇太后御歌  
人のため身のためのおもふこそ  
うつせみの世のならひなりけれ

(口語訳)  
世の人のため、わが身のために、心をつくして様々に思いを巡らすことこそ、この世に生きる人の持つべき心の有様というものです。

被災地へ出向き、復旧活動に参加すること、また、支援物資を送ったり募金をしたりすることなど直接的な支援と、現地へ旅行に行ったり食事に行ったりするなど間接的な支援、支援の方法はいくつもある。ともかく支援できることがあれば、積極的に行動に移すことが大切である。

※昭建皇太后 明治天皇の皇后



節分祭齋行

### 春の訪れに、福は内。

暦の上で季節の節目を表す「二十四節気」の始まり、「立春」を翌日に控えた二月三日、季節の変わり目に不意に忍び寄る邪気を追い破る追儺神事「節分祭」を齋行しました。

節分の日は二月三日と定まっております。翌日の立春の日により、節分の日も翌日と定まっております。昭和六十年より長い間「二月三日の節分」が続きましたが、令和三年よりしばらくは三年おきに「二日」の年が訪れ、来年、令和七年の節分は二月二日となります。



今年の元日には能登半島地震が発生し、石川県、また当県に於いても各地で甚大な被害が報告されました。ここに衷心よりお見舞いを申し上げます。



令和六年 辰年  
初詣



古来、活力が漲り強い運氣と繁栄をもたらすと云われる辰年の今年も、氏子の皆様始め関係各位のご協力により、あたたかく皆様をお迎えすることが出来ました。

吹雪止み尖る立山空に浮き  
 大吉と夢を引きたり初御籤  
 蒼天の鎮守の杜や初句会  
 大前に句の上達を初祈願  
 大地震に遠き友より初電話  
 杓伸ばし龍頭より汲む初手水  
 水紋の御手洗川や初日受く  
 凛然と並ぶ神杉淑氣満つ

初詣句会  
 福野糸瓜句会奉納句



初絵馬を龍踊り出る能登までも  
 凛然と並ぶ神杉淑氣満つ  
 水紋の御手洗川や初日受く  
 杓伸ばし龍頭より汲む初手水  
 大地震に遠き友より初電話  
 大前に句の上達を初祈願  
 蒼天の鎮守の杜や初句会  
 大吉と夢を引きたり初御籤  
 吹雪止み尖る立山空に浮き

中川 英堂  
 名村 五月  
 田上真知子  
 梅島くにを  
 有川 寛  
 上古 眞澄  
 有川 公子  
 城宝寿美礼  
 五十嵐千恵子

皇紀二六八四年

紀元節祭齋行

今日では「建国記念の日」として広く国民に親しまれている二月十一日、我が国の建国を奉祝する「紀元節祭」を齋行しました。「紀元節祭」は大和国橿原の地に於いてご即位されてより悠久二六八四年。参列者は世の平安を祈って奉奏される「浦安の舞」に心を重ね、皇室の弥栄と変わることのない我が国の安泰と繁栄を願い、心を込めて玉串を奉りました。「紀元節」は明治六年に制定され、一度の中断を経て、昭和四十二年からは「建国記念の日」として、再び日本の建国をしのぶ祝日となりました。



## 祈年祭齋行

—五穀豊穡とすべての産業の発展を祈って—

早春の境内にほのかに漂う芽吹き  
の気配に、本格的な春の訪れの  
待ち遠しい二月十七日、その年の  
豊穡と産業の発展を大前に祈る  
「祈年祭」を齋行しました。

古くより「祈年祭」は、暖かい春  
を迎え、その年の農作業が活発化す  
る前に、秋の豊潤な稔りをご神前に  
祈念する祀りでしたが、世の産業が  
その近代化と共に私たちを変えて  
きた今日では、農業はもとより商工  
業を含むすべての産業の振興を祈  
る、年間でも特に大切な祭事となり  
ました。



## 天長節祭齋行

—天皇陛下のお誕生日を寿ぎ—

小雪舞う二月二十三日、天皇陛下の  
満六十四歳のお誕生日を寿ぎ「天長節祭」  
を齋行、天皇皇后両陛下の末永いご健  
康と皇室の弥栄、国家国民の更なる繁  
栄を祈念しました。

この日、宮中三殿では「天長祭」が齋  
行され、天皇陛下が賢所・皇霊殿・神殿  
の三殿それぞれを二拝礼遊ばされ、天  
皇誕生日の一般参賀に臨まれました。



## 新型ウィ

ルスの感染  
予防を第一  
に、ご案内  
を代表の方  
に限定して  
の齋行が続  
いた本祭典  
ですが、本  
年は西田明  
男、石岡敬  
夫、藤井秀  
之各責任役  
員、井波地  
域農業者会  
会長西村精志氏、次年度献穀田奉耕者  
中田幸礼氏他、多くの皆様のご参列を  
いただいたの齋行が叶いました。



祭典では、井  
波松風会（前田  
由美子会長）に  
よる吟詠、「新し  
き（大伴家持  
作）・「新年雪裏  
の梅花に賦す  
（有智子内親王  
作）」の二曲が力  
強く奉納され、  
重要な祭祀に、  
更なる厳かさを  
添えていただき  
ました。

## 鎮火祭齋行

—無火災、無災害を祈って—

冬ごもりしていた虫達も活力  
を得て、やがて春の野に這い出  
す「啓蟄」を過ぎた三月八日、  
南砺消防署東分署長川森秀二  
氏を始め、南砺市消防団井波方  
面団長角地永吉氏、同福野方  
面団長川森行雄氏他、地域の  
消防に携わる方々、また関係各  
位のご参列のもと「鎮火祭」を  
齋行しました。古式にならない、  
宮司と森田松司高瀬分団長が  
「瓢の水」、続いて中嶋範英部  
長、竹田衛班長が各々に「砂」  
と「川菜」を手に執り、地域の  
安全と無火災を祈って「鎮火の  
儀」を奉仕しました。



シリーズ

大国さまの

牛嶽社めぐり

第七回 白井谷しらいだに牛嶽社

山田村（富山市）の西南にそびえ立つ牛嶽（九八七メートル）は、太古の昔から名を知られた霊峰で、人々は地域を鎮め護る神体山として、朝夕仰ぎ崇敬してまいりました。

山に初雪が降りると冬の到来が近いとして山中・山麓の農家は冬支度に取り掛かり、早春の雪融け頃に残雪の形が臥牛がきうの姿に見え出すと、農家が田畑の耕しを始めるといわれています。こうした農事予知を示すことから、農家暦としての信仰の山となっておりました。

現在の富山市山田白井谷に鎮座する牛嶽社には、京都の祇園ぎんの社（八坂神社）に牛頭天王として祀られ、悪疫を避け水利を守る神様として崇め

られている「素戔嗚尊すそのおのみこと（大国様は素戔嗚尊の六世孫にあたります）」が御祭神です。鎮座年月日は不明ですが、「明治五年御神体・立奉修繕、本殿拝殿再建す」と記録されており、昭和五十二年には明治百年記念として社号標、狛犬が建立され、社殿の修繕も行われました。春祭は四月十四日、秋祭は十一月六日に行われています。



残雪の中に佇む鳥居と社殿

神社名 牛嶽社  
鎮座地 富山市白井谷  
御祭神 素戔嗚尊  
宮司 若宮 得幸  
境内地 四五四坪

能登半島地震による被害について

元日に発生した地震につきまして、各地より多くのお心遣いのお言葉を賜り、心より御礼を申し上げます。当社においては鳥居上部より剥離した石片が落下、余震の発生に備え、その周辺を一時立入り不可としましたが、一月三日には専門業者の確認のもと、無事、封鎖を解除することが出来ました。大神様のご加護に感謝申し上げます。



三が日の間、鳥居下の通行を制限し迂回路を設けた



鳥居上部より落下した石片

能登半島地震で被災された皆様  
心からお見舞い申し上げます  
復興をお祈りいたします



安産祈願  
戌の日カレンダー

4月 4日・16日・28日  
5月 10日・22日  
6月 3日・15日・27日  
7月 9日・21日  
8月 2日・14日・26日  
9月 7日・19日

腹帯のお祓いも行いますので、どうぞご持参下さい。

ご祈祷のご案内

高瀬神社のご祭神は福の神、縁結び・医療医療の神として全国より広く崇敬を集める大国主大神（大国さま）です。

当神社では、交通安全（車のお祓い）・家内安全・良縁成就（縁結び）・心身健全・厄除け・病氣平癒他のご祈祷を、心を込めて毎日ご奉仕しています。

お気軽に社務所までお問い合わせ下さい。

ご祈祷料 1件につき5,000円以上思召し

高瀬神社社務所 0763 (82) 0932



## 御社殿屋根修復事業奉賛者芳名

(順不同・敬称略)

令和五年十二月

昨年十一月に無事、竣功を迎えた本事業に対し、左記の方々より赤誠あふれるご奉賛を賜りました。厚く御礼申し上げます。

〔十五万円〕

(有)石森石材

〔五万円〕

谷口 昭義

〔二万五千元〕

井上 恵資

〔二万円〕

岩田 百郎

藍樹工業

鳥内実樹憲

〔五千元〕

稲田伴望子

前田 一

訂正とお詫び

第八〇号にて、ご奉賛賜りました方のお名前前に誤りがありました。

左記の通り訂正し、謹んでお詫び申し上げます。

〔百万円〕

大和トランスポート(株)

村西 更新

前田 一

(敬称略)



功霊殿本殿屋根  
銅板葺替工事竣功

令和四年七月から始まった「御社殿屋根銅板葺替工事」の最終工区(第五工区)である功霊殿本殿屋根の銅板葺替作業が、昨年十一月下旬に完了しました。

同 拝殿屋根の葺替作業は、



拝殿屋根葺替え工事の様子。こちらの作業は令和4年11月に完了している。

第二工区としてすでに完了しており、およそ一年の期間を経て無事、本殿・拝殿それぞれの工事が竣功しました。

これもひとえに南砺・砺波・小矢部市各遺族会、功霊殿奉斎会、また本事業にご賛同いただきました皆様のご真心によるものと、心より御礼を申し上げます。

## 連載 鎮守の杜のすたるじい 第3回

池波先生と私

高瀬鳳鳴クラブ

会長 大和 秀夫

《父方の先祖が、越中井波の宮大工だったそう。このことを何かの原稿に書いたのを歴史民俗資料館の岩倉館長さんが見て、しきりに誘ってくれたので秋も深まった或る日、私は京都から越中に向かった。》

『小説現代』より抜粋

故岩倉節郎さんの尽力で池波正太郎先生と井波との交流が始まったのは、昭和五十六年の十月。「鬼平科帳」「剣客商売」等の人気作品で著名な作家がこの地を訪れるということは、特別なお客さん扱いである。私はこの日、岩倉さん、野原寅蔵さんに同行し、運転手として先生をお迎えした。

ひとしきりの挨拶や会話の後、先生の「町職員は大変でしょう」の言葉にびっくり。「はい、そうですね...」とはお答えしたものの、天下の大作家のお世辞と思ひ、私はこの会話に区切りをつけた。先生



高瀬神社を正式参拝する池波正太郎氏

が公務員を十年間勤められた経験者であることも知らないままで...

先生に同行していたある時「君、そんなに私の家に来るのが嫌なのか？」との言葉。私が幾度かのお誘いを社交辞令と考へ、生返事を繰り返してないからである。上司さえ訪問してないご自宅を私が訪ねることは勇気のあることである。また、池波家への手土産も難しい。食通としても知られる先生である為、結局私は井波名産の「里芋」を持参した。この里芋に土が付いている訳を私が話すと先生は「有難う」の一言だけ。「やっぱりお菓子の方が良かったのかな...」との思いがよぎった。

二日後、先生からの手紙で、先日の里芋が大変旨かったので、また送って欲しいとのこと。

それ以後、毎年里芋などを送る度に、直筆の礼状が届いた。

池波先生は、当地、越中井波を心の故郷として度々訪れており、その折には、ここ高瀬神社も参拝、鎮守の杜を散策されています。



池波氏を案内する当時の大和さん(右)

七十七号より連載をスタートしたこのコラムでは、氏子崇敬者の皆様よりお寄せいただいた、高瀬神社にまつわるどっておきの思い出ばなしをご紹介します。



祝祭日には国旗を掲げましょう



茅の輪くぐり神事  
6月30日(日)午後3時

**夏越大祓のご案内**  
毎年六月と十二月に行われる「大祓」は、私達が日々を送る中で知らず知らずのうちに犯した罪穢れを祓い、続く半年を無病息災に過ごす為の、我が国に古くより伝わる大切な年中行事です。  
当日は、「人形」に罪穢れを移し、「茅の輪」をくぐるにより祓い清めをします。  
越中一宮高瀬神社の夏越の大祓に参加して、暑い夏を健康に乗り切りましょう。



### 桜詣のお知らせ

期間 開花の頃～見頃過ぎまで  
桜の香り、心に元気。

高瀬神社の境内や大門川のほとりは、この時季やわらかな桜の香りに包まれます。  
社務所では「桜詣」のご朱印をご用意してお待ちしています。



300枚限定の桜詣ご朱印  
特別な和紙に墨書しています

### 児童安全守のご紹介

四月はピカピカの新一年生が元気に通学を始める季節です。高瀬神社では、お子様の安全な登下校を願って「児童安全守」をご用意しております。お守授与所にてお受け下さい。



【児童安全守】 頒価 各800円  
ピンク・水色/キーリング付き  
縦5×横3cm

### 夏詣開催

期間 七月一日(月)～七日(日)  
日本の新しい習慣として

「大祓」は年に二回行われます。十二月三十一日の「師走の大祓」で罪穢れを祓い清めてから「初詣」に出かけます。  
六月三十日の「夏越の大祓」でも同様に罪穢れを祓いますが、その後あらためて参拝する習慣はありませんでした。そこで、半年が



550個を超える色とりどりの風鈴の共演



夏詣期間限定のご朱印

無事に過ぎたことに感謝し、残る半年も平穩に過ごせるよう祈る参拝のことを「夏詣」と呼び、新しい習慣として提唱しています。  
当神社では、この「夏詣」期間、境内に風鈴を飾り、涼やかな音色をお楽しみいただいています。





## 大国さまの処方せん ⑫

「“健診”と“検診”を受けましょう」

南砺市民病院  
看護部部長

健康管理センター主幹  
大西 真弓

あなたは、この一年間にケンシンを受けられましたか？このような質問をすると、「いつも先生のところまで血液検査しているから受けていない」、「公民館で胸のレントゲンだけ撮ってきた」との返答を聞くことがあります。実はケンシンには「健診」と「検診」があることをご存知でしょうか。

「健診」は、健康診断、健康調査の略です。身体測定や血液・尿などの検査を行い、生活習慣病などの疾患がないかを調べます。四十〜七十四歳までは特定健診（いわゆるメタボ健診）といわれ、脳血管や心血管疾患の引き金となるメタボ状態の有無を確認することに主眼がおかれています。その他の年代においても、

学校健診や職場での健診、後期高齢者健診など、年に一回健診の受診機会が設けられています。

一方で「検診」は、ある特定の病気にかかっているかを調べる診察のことをいい、早期発見・早期治療を目的としています。こちらは、胃がん検診や子宮がん検診などに用いられます。がん検診は、それぞれの疾患の好発年齢によって検診を勧奨する年代も異なります。職場などで検診機会のない方には、毎年自治体よりがん検診の案内が発行されますので、こちらをご確認ください。なお、健診にがん検診を組み合わせた人間ドックなどで受診する方法もあります。

いずれのケンシンも、受ける事がゴールではあ

りません。受診の結果、要精密検査や要治療と判断された場合は、速やかに医療機関を受診してください。こちらは二次検診ともいいますが、二次検診まで受けてケンシンを受けたといってもよいでしょう。一年に一度は身体メンテナンス、健診と検診を受けましょう。

大西 真弓 師長

看護部部長  
健康管理センター主幹

南砺市出身。  
金沢大学医療短期大学部看護学科卒。  
富山県立総合衛生学院保健学科卒。

看護師また保健師として日々患者さんの健康維持に取り組まれています。

医薬医療の神として知られる大国主大神（大国さま）のご神徳にちなんだこのコラムは、毎回、専門家の方にご寄稿いただき、読者の皆様の生活に役立つ医療知識などを発信いたします。

### 【辞令】

#### 退職

榎 藤井 典弘

規則により定年退職とする

令和六年三月三十一日

榎 長谷川宏幸

願により職を免ずる

富山県神社庁に転出

令和六年三月三十一日

巫女長 五反 日乃

願により職を免ずる

令和六年二月二十九日

巫女 米田 亜依

願により職を免ずる

令和六年三月三十一日

#### 採用

松本 正靖

権榎宜を命ずる

令和六年四月一日

松井 佑亮

権榎宜を命ずる

令和六年四月一日

谷井 琥珀

巫女見習を命ずる

令和六年四月一日

### ご奉納御礼

【事務機器・厨房調理器具】

藤井 典弘 殿

【几帳（幣殿調度）】

長谷川宏幸 殿

【巫女舞花かんざし】

五反 日乃 殿

【CD演奏機器】

米田 亜依 殿

右の方よりご奉納を賜りました。厚く御礼申し上げます。

## 七夕祭並びに技芸上達祈願祭のご案内

日時 七月七日(日) 午前10時



「星まつり」ともいわれる七夕は、天の川を挟んで離ればなれの織女星と牽牛星が、七月七日の夜にだけ再会することを許されたという、古よりの伝承を起源とする風習です。この日、当神社では七夕の神事に併せて、織姫(織女星)の優れた手わざにあやかり、手習い事の上達を祈願する「技芸上達祈願祭」を斎行します。どうぞご家族お揃いでお参り下さい。



高瀬神社では、来たる子供の日に向けて「端午の節句」の吊るし飾りを準備しています。風薫る初夏、季節の飾り細工をお楽しみ下さい。

## 月次祭参列のご案内

高瀬神社では、氏子崇敬者の皆様に月次祭にご参列いただき、ご家族の平安と繁栄を祈念しております。ご参列をご希望の方は、社務所までお問い合わせ下さい。



日時 毎月1日・13日  
午前10時  
(1月1日・9月13日を除く)



## 人形感謝祭のご案内

古くなった人形に感謝し、お祓い、お焚き上げをするお祭り「人形感謝祭」を行います。

役目を終えた「人形」や「ぬいぐるみ」をお持ち寄り下さい。

日時 7月14日(日) 10:00より  
場所 高瀬神社 本殿  
受付 7月13日(土) 9:00~15:00  
7月14日(日) 9:00~ 9:45  
祈願料 3,000円より  
(手提げ袋1袋程度につき)



## 第24回 人形展 ～ 一期一会 ～

期間 7月13日(土)~15日(月)  
午前10時~午後4時  
会場 高瀬神社 参集殿

慣れ親しんだ人形とのお別れは寂しいもの。ここにはそんな心を優しく癒してくれるひとときがあります。県内外で幅広く活躍する人形作家と、草月流富山県支部秀抱会とが織りなす、創作人形といけばなの艶やかな共演——。心ゆくまでお楽しみ下さい。



初宮参りにてご昇殿の赤ちゃんに、お食い初めの「歯固め石」をお頒ちしています。「丈夫な歯が生えますように」との願いを込めて行方儀式に、この「歯固め石」をご希望の方は、どうぞご祈禱後にお申し付け下さい。

## 社報バックナンバーのご案内

当社社のホームページにてバックナンバーをご覧いただけます。祭典の由緒や行事の沿革など、過去の記事もご参考になさってください。

<https://www.takase.or.jp>

## 表紙写真

浪速神楽「剣の舞」。春雷を打ち祓い、行く末の飛躍を招く。

## 編集後記

春は旅立ちの季節。送別会帰りの繁華街を、花束を片手に仲間達と楽し気に歩く主人公の背中もど

こか淋しく映る。進学・就職・転職・転職：人生の岐路にはとかく別れが付きものだが、新しい仲間との新しい出会いは、とびきりの笑顔で元氣よく、心にあの花束を持って。(智)



# 新参集殿10周年

これからも新たな夫婦の幸福のために。



発行日 令和六年四月一日

発行所 越中一宮 高瀬神社社務所

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291

TEL0763-8210933  
FAX0763-8213304

印刷所 牧印刷株式会社



あなたの人生に、神社がある。越中一宮高瀬神社

〒932-0252 富山県南砺市高瀬291  
ご予約はTEL0763-82-1131

高瀬神社

検索

